特別活動全体計画

小松市立御幸中学校

学　校　の　教　育　目　標

温かい人間関係づくりを基盤にし，
豊かな人間力のある生徒の育成

【学校教育目標を達成するための基本方針】
・豊かな人間性　・確かな学力　・主体的・自治的な力
・健やかな体　・御幸を愛し，貢献する心

特　別　活　動　の　目　標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

（１）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
（２）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりできるようにする。
（３）主体的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

生徒の実態
保護者・地域の願い
教師の願い
今日的課題

３つの視点
・人間関係形成
・社会参画
・自己実現

各学年の指導の重点

[1年]
集団活動を通して、協力して物事に取り組む達成感や成就感を味わわせたり、自らの役割に責任を持って取り組む姿勢を育んだりすることを通して、集団の中で積極的に活動できる意欲を育む
[2年]
集団活動の意義や活動する意味を十分に理解するとともに、集団や生活上で起こる様々な課題解決を通じて、より良い集団生活を構築していく姿勢を育む。
[3年]
集団活動を通して、自己の能力を発揮してよりよい集団づくりや社会形成に向けて意欲的に取り組むとともに、自らの生き方を見つめ、自己実現を図ろうとする態度を育む

各教科・道徳・総合的な学習の時間等との関連

〈各教科〉
特別活動において、安定した人間関係づくりや授業規律の確立など、よりよい集団として学習基盤を築くことで、各教科における話し合い活動を活性化し、主体的・対話的な深い学びを充実させる。

〈道徳教育〉
特別活動を道徳教育で学んだ道徳的価値を生かせる実践の場とし、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、人間としての生き方についての考えを深めるとともに、豊かで明るい学校生活を築く。

〈総合的な学習の時間〉
地域社会や勤労・働くことの意義について学習する中で、地域社会を含めた社会形成者の一員として、自己の生き方を見つめ、主体的によりよい社会を作るための担い手としての自覚を持つ。

〈生徒指導〉
特別活動を通じて、個々の生徒についての理解を深め、自己肯定感を醸成しながら、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を育み、学級経営の充実を図る。その際、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図る。

学　級　活　動

[目標]
学級や学校の課題を見い出し、よりよく解決するため、話し合って合意形成し実践し、学級や学校の生活の充実や向上を図ることを通じて、集団や社会における生活及び人間関係ををよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

［重点目標］

（１）人間関係づくり
ルール・マナーの共有化を図り、認め合いの場を設定することで望ましい人間関係を作り、よりよい学級生活を築き上げようとする意欲を高める。

（２）社会参画
誰もが安心して過ごすために認め合いの場を設定することで望ましい人間関係を作り、よりよい学級生活を築き上げようとする意欲を高める。

（３）自己実現
自ら課題を見い出し、問題を解決したり助け合ったりするための話し合い活動や実践の場を意図的に設定することで生徒の自主性や、実践意欲、社会性の向上を図る。

〈具体的活動等は、別に示す〉

生　徒　会　活　動

[目標]
異学年の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立てて役割を分担し、自主的、実践的に取り組むことを通じて、課題解決に向けて話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

［重点目標］

（１）人間関係づくり
生徒会活動を通して、より良い学校生活や望ましい集団生活の構築に向けて、学校生活に尽力できる態度を養う。

（２）社会参画
生徒会活動やボランティア活動等の社会参加を通して、生徒の主体性や実践性、社会貢献の精神を育む。

（３）自己実現
一人ひとりが生徒会の一員としての自覚を持ち、集団生活の向上のために様々な課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

〈具体的活動等は、別に示す〉

学　校　行　事

[目標]
全校又は学年間の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や行動の仕方等を身につける。

［重点目標］

（１）人間関係づくり
異学年の生徒が学校行事や地域との関わりごとに思いを伝え合い、認め合い、望ましい集団生活や学校生活に尽力できる態度を養う。

（２）社会参画
学校行事への積極的な参加を通して集団への所属感や連帯感を高め、集団生活において望ましい言動ができるよう自主的・実践的な態度を養う。

（３）自己実現
学校行事や地域との関わりを通して、地域社会の一員としての自覚を深め、自己実現のための進路を切り拓くことができるようにする。

〈具体的活動等は、別に示す〉

[評価]生徒のよい点や進歩の状況を積極的に評価し、活動の結果だけではなく、活動の過程における努力や意欲を積極的に認める。学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ることができるようなポートフォリオ的な教材を活用する。